

連続函数環=ツイテ

吉澤尚明 (級大学生)

(9月25日受付)

以下ニ、極々簡單ナコトデアリマスガ、連続函数ノ擴張ニ関スルーツノ向題ニ就イテ報告致シマス、尚、コレハ、目下角谷静夫先生ニ指導シテ頂イテ居リマス セミナリーニ於テ証明シタコトデアリマスガ、本文ニ関シマシテモ、種々御指導ヲ受ケマシタ。

1. Ω ヲ *bicompact Hausdorff space* トスル時、 Ω デ定義サレタ複素数値連続函数 $z(\omega)$ ノ全体ハ、normヲ $\|z\| = \max_{\omega \in \Omega} |z(\omega)|$ ト定義スルコトニヨリ、ノルム環ヲ作ル。コレヲ $C(\Omega)$ デ表ハス。今、 F ヲ Ω ノ真部分集合トスル時、 F ノ上デ連続ナ函数ハ、*Weierstrass*ノ擴張定理ニヨツテ、 Ω ノ上ハ連続ニ擴張スルコトが出来ル。即チ、 $\alpha_F \in C(F)$ ニ対シテ、 F ノ上デ $z_F(\omega) \equiv z_\Omega(\omega)$ トナル如キ $z_\Omega \in C(\Omega)$ ガ存在スル。(勿論、 $C(F)$ ハ F ノ上ノ複素数値連続函数全体ノ作ルノルム環デアル。 $\|z\| = \max_{\omega \in F} |z(\omega)|$ ト定義スル) 此ノ場合、 F ガ Ω ノ真部分集合ナラバ、ーツノ $z_F(\omega)$ ノ擴張 $z_\Omega(\omega)$ ハ唯一ツデハナイガ、任意ニーツヲ選ブコトニヨツテ $C(F)$ カラ $C(\Omega)$ ノ中ヘノ一意写像 φ ガ定義サレル。此ノ φ トシテ、*linear, multiplicative* 且 *isometric* ナルモノ

が存在スルタメニハ、 F ガ (Borsick! 意味デ) Ω ノ retract
 デアル。即チ、スベテノ $w \in \Omega =$ 対シテ $f(w) \in F$ 、 $w \in F$ ナ
 テバ $f(w) = w$ ナル、 Ω カラ F ノ上へノ連続写像 f ガ存在ス
 ル)コトガ主要且充分デアルコトヲ証明スルノガ、本スノ目
 的デアル。コトニ任意ノ $x, y \in (F)$ ニ対シテ、

$$(1) \quad \varphi(x+y) = \varphi(x) + \varphi(y),$$

且 任意ノ複素数 α ニ対シテ、

$$\varphi(\alpha x) = \alpha \varphi(x)$$

ナル時、 φ ヲ linear,

$$(2) \quad \varphi(xy) = \varphi(x) \cdot \varphi(y)$$

ナル時、 φ ヲ multiplicative,

$$(3) \quad \|\varphi(x) - \varphi(y)\|_{\Omega} = \|x - y\|_F$$

ナル時、 φ ヲ isometric ト言フ。

2. 定理1ヲ補助定理トシテ用キル。

定理 1 (Silow). R ヲ $C(\Omega)$ ノ、単位元ヲ含ム closed
 subring デ 次ノ条件ヲ満スモノトスル。

(*) 任意ノ $x(w) \in R$ ニ対シテ $\overline{x(w)}$ ガ R ニ属スル。但シ
 $\overline{x(w)} \neq x(w)$ ノ共轭複素数ヲ示ス。然ラバ、 R ハ Ω ノ或連続像 Ω'
 關スル $C(\Omega')$ ト equivalent デアル。(isomorphic 且
 isometric 7 equivalent ト言フコトニスル。)

逆ニ、 Ω' ガ Ω ニ連続像ナラバ、 $C(\Omega')$ ハ、条件(*)ヲ満
 ス、 $C(\Omega)$ ニ属スル closed subring R ト equivalent デアル。

証明: 要点 $\Omega, R \text{---} \omega: \text{maximal ideal} = \Omega$
 $\Omega \text{---} \omega$ が $\Omega \text{---} \omega = \Omega, R \text{---} \omega$ maximal ideal かつ
 少くとも ω に対応スルコトカラ、 $R \text{---} \omega$ maximal ideal
 全体 = weak topology ω を入レタモノ Ω' が、 Ω の連続
 像ニナルコトデアル。シカラバ、 $R \text{---} \omega$ $C(\Omega')$ と equivalent
 ニアル。定理、後半ハ明ラカデアル。

定理 Ω, Ω' $\text{bicomact Hausdorff space}$ として、
 $C(\Omega')$ と equivalent ナル、 $C(\Omega)$ の部分環 R (R が $C(\Omega)$
 の単位元ヲ含ムコトハ仮定シナイ) が存在スルタメノ必要且
 充分ナル條件ハ、 Ω' が Ω の連続像デアルコトデアル。

証明。充分ナルコトハ、定理 1 の後半ソノモノデアルカラ、
 必要ナルコトヲ証明スル。

(1) $C(\Omega)$ の単位元 e' = 対応スル R の元 $e(\omega)$ ハ、 $e'^2 = e'$
 ナルコトカラ、 Ω の上デ 1 又ハ 0 ナル値ヲミヲトル。今、
 $\Omega_1 = \{\omega \mid e(\omega) = 1, \omega \in \Omega\}$, $\Omega_2 = \{\omega \mid e(\omega) = 0, \omega \in \Omega\}$
 トスレバ、 $\Omega = \Omega_1 \cup \Omega_2$, 且 $\Omega_1 \cap \Omega_2 = \emptyset$ デアル。故ニ、
 Ω_1 及び Ω_2 ハ何レモ $\text{bicomact Hausdorff space}$
 デアル。又、定理ヲ証明スルニハ、 Ω' が Ω_1 の連続像デアル
 コトヲ示セバ充分デアル。

(2) $\omega'(\omega')$ Ω' の上デ実数値ヲミヲトル $C(\Omega')$ の元トス
 ルヲラバ、対応スル $\omega(\omega) \in R \in \Omega_1$ の上デ実数値ヲミヲ
 トル;

今、或ル $p \in \Omega_1$ ニ於テ、 $\omega(p) = \lambda + i\mu$, $\mu \neq 0$ デアツタト

スル。シカテバ、 $y' \equiv (x' - \lambda e')^2 + (\mu e')^2 =$ 対応スル $y \equiv (x - \lambda e)^2 + (\mu e)^2$ ハ、 $y(p) = 0$ 。一方、 Ω' ノ上デ、 $y'(w') \geq \mu^2 > 0$ ナルカラ $C(\Omega') = \emptyset$ 、 y' ノ逆元 z' ガ存在スル：
 $y' z' = e$ 。故ニ、 $z' =$ 対応スル $z =$ 関シテ、 $y \cdot z = e$ 、即チ Ω_1 ノ上デ、 $y(w) \cdot z(w) \equiv 1$ デナケレバナラナイ。コレハ $y(p) = 0$ 反スル。故ニ、 $z(w)$ ハ Ω_1 ノ上デ実数值デナケレバナラナイ。

(3) Ω' ノ上デ $y'(w') \equiv \overline{x'(w')}$ ナレバ、 Ω_1 ノ上デ、 $y(w) \equiv \overline{x(w)}$ 。

何トナレバ、 $x'(w') + y'(w') = \frac{1}{2} \{x'(w') - y'(w')\}$ ハ Ω' ノ上デ共ニ実数值ノミヲトル、故ニ、(2°)ニヨツテ、 $x(w) + y(w) = \frac{1}{2} \{x(w) - y(w)\}$ 且 Ω_1 ノ上デ、実数值ノミヲトル、故ニ $\overline{x(w)} \equiv y(w)$ 。

(4) 即チ R ハ $C(\Omega)$ ノ、条件(*)ヲ満ス closed subring デアル。故ニ定理1ニヨツテ、 R ハ Ω_1 或ハ連続像 $\Omega'' =$ 関スル $C(\Omega'')$ ト equivalent デアル。従ツテ、 $C(\Omega_1)$ ト $C(\Omega'')$ トハ同型デアル。ヨク知ラレタ定理ニヨツテ Ω_1 ト Ω'' トハ homeomorphic、即チ Ω_1 ハ Ω_1 ノ連続像デアル。

[證終]

定理 3. Ω ヲ bicomact Hausdorff space, F ヲ Ω ノ所集点トスル時, F ノ 複素数值連続函数ノ全体 $= \Omega$ ノ上ノ同時ニ、linear, multiplicative 且 isometricニ拡張出来ルタメニ必要且充分ナル条件ハ、 $F \cong C(Brusuk$

ノ意味デ Ω retract ナルコトデアル。

証明 充分ナルコトハ殆ンド明ラカデアルカラ、必要ナルコトノミヲ證明スル。

$C(F)$ ヲ $C(\Omega)$ ノ中へ同時ニ (定理ニ云フ如ク) 拡張出来タトシテ、拡張サレタ $C(\Omega)$ ノ元ノ全体ヲ R トスル、シカラバ R ハ $C(F)$ ト *equivalent* ナル $C(\Omega)$ ノ *closed subring* デアル。

故ニ定理 2ニ於テ證明シタコトヨリ、 R ハ Ω ノ或連続像 $f(\Omega) \equiv \Omega'$ ニ関スル $C(\Omega')$ ト *equivalent* デアル。ユノ場合定理 1ノ證明ヨリ容易ニワカル如ク、 F ハ Ω' ノ中ニ *homeomorphic*ニ *embed* サレテキル: $F \approx F' \subseteq \Omega'$. (F ノ各点ニハ R ノ *maximal ideal* ガ一ツ且唯一ツ對應スルコトヨリ明ラカデアル。) 故ニ $F' = \Omega'$ ヲ云ヘバ、證明が完結スルワケデアル。

今、 $x' \neq y'$, $x', y' \in C(\Omega')$ トスレバ、對應スル $x, y \in R$ ハ、 R ガ $C(F)$ ノ拡張デアルコトカラ、 F ノ上デ、 $x(w) \neq y(w)$ デアル。故ニ、 F' ノ上デ $x'(w') \neq y'(w')$ デナケレバナラナイ。(何トナレバ、 $w' = f(w)$ ナラバ、 $x'(w') = x(w)$ デアル。) 故ニ F' ハ Ω' ノ真部分集合デハアリ得ナイ。即チ $\Omega' = F'$ デナケレバナラナイ。 (証終)